

エコにこセンター活動サポーター

(エコサポ)メンバー募集



不用になった布などを使って、小物や巾着袋などを作る活動メンバー(ボランティア)を募集します。手芸や裁縫が得意なだけではなく、作り方を教えっこしたり、にぎやかにおしゃべりをしながら楽しく作品作りをしたい方が対象です、

活動日時 毎週水曜日 10時～15時ごろまで

主な内容 不用な布や毛糸などを使って小物や袋などを作る

人数 若干名

締め切り 12月15日(土)

メンバーが決定した場合は締切日以前に受付終了になります。

申込方法 詳細は個別にお話をしますので、電話で来館日を予約してください。関心を持ったらお気軽にお電話ください。

★作品は「エコサポコーナー」で販売したり、センターの事業で利用したりします。なお、販売した際の売上は作品の材料費やメンバーの研修費、センターで行っている子どものボランティア活動の資金、花の苗代などに充てられます。

★交通費、謝礼、売上や作品数などに対するマージンはありません。

現在のメンバーの作品例



こうさくの時間「陶芸」

回収した食器を20%程度含むリサイクル陶土を使用。1人150gの陶土で1作品を自由に作ります。事前予約不要。受付時間内に直接会場までどうぞ。陶芸の専門家によるていねいな指導はありませんが、陶芸好きスタッフが在室しています。

12/2(日) 1/13(日) 2/23(土) 3/30(土)

受付時間 13時30分～15時 会場 2階多目的室 費用 1人200円

作品の引渡しは、約1ヶ月後になります。

予約不要で気軽に参加!! 「こうさくの時間」

◆こうさくの時間 “ルームプレート”

粗大ごみとして回収されたタンスなどの端材を使って「ルームプレート」を作ります。作品は当日持ち帰ることができます。受付時間内に直接会場までどうぞ。

☆タテ 10 cm・ヨコ 15 cmの板を使ってつくります。

☆作ることができる作品は1回1人1つです。ただし、家族やきょうだいで1つの作品を複数人で作ることは可能です。

☆板に、コルク、布、紙などをボンドで貼ったり、板の表面にマーカーで模様をつけたりして作ります。

☆費用は1人(1作品)100円です。

☆年齢制限はありません。ハサミを使うことができれば、子どもみみの参加も可。

☆座席が不足する場合はお待ちいただくことがあります。



クリスマスカラーの
コルクを用意して
います

◆12月9日(日)(受付時間 13時30分~15時)

◆会場 エコにこセンター2階多目的室

◆くるくるカレンダーコーナーの設置について

毎年好評の「くるくるカレンダー」コーナーの設置を予定しています。2019年の不用なカレンダー・手帳が1つでもあれば、捨てずにエコにこセンターにお持ちください。

1年間お付き合いするカレンダーには、一人ひとりの思いや好みがあります。たとえば、文字が大きい、きれいな景色の写真、キャラクターが付いている、書き込みができるスペースがある、好きなタレントの写真集のようなものなどなど。手帳も同様で、使い勝手にこだわる人もいれば、メモ帳代わりに使うという人も。こちららも不用なものがあればぜひ届けてください。

必要な方や趣味の合う方に使ってもらえるとムダにならずうれしいですね。ご協力をお願いします。

■カレンダーの持ち込みは2019年1月末まで受け付けます。必ず事務室またはレジカウンターで直接スタッフにお渡しください。

■郵送する場合は、必ず送信者の名前、住所、電話番号を書き、送料はご負担ください。着払いの場合は受け取れません。

■センターには子どもたちが多く来館します。カレンダーの写真、内容等への配慮をお願いします。

■カレンダー等の数が少ない場合の持ち帰りは、1人1部でお願いします。スタッフの声がけにご協力ください。

■「くるくるカレンダー」コーナーは、2019年1月8日(火)から2月28日(木)までの設置を予定していますが、早めになくなった場合は最終日前に終了します。

清掃工場だより 「3つのR」



2018年10月、本庶佑（ほんじょ たすく）京都大特別教授のノーベル医学生理学賞受賞が決まりました。

本庶教授は、研究への取り組み方として「6つのC」を大切にしていたそうです。

それは英語で、「好奇心(Curiosity)」、「挑戦(Challenge)」、「集中(Concentrate)」、「勇気(Courage)」、「確信(Confidence)」、「継続(Continuation)」の頭文字からきています。

既に多くのメディアで報道され、「6つのC」はご存知の方も多いと思いますが、皆様は「3つのR」という言葉を聞いたことがありますでしょうか。

これは、環境にやさしい社会へのキーワードで①リデュース（ごみを減らそう）、②リユース（くり返し使おう）、③リサイクル（資源として活用しよう）の頭文字であるRからきています。

この言葉だけ聞くと、なんだか最近の取り組みのように聞こえますが、実はこのリサイクルは江戸時代では当たり前の取り組みでした。現代のようになんでも簡単に手に入れられる時代ではありません。壊れたものは直して使用しリサイクルしていたのです。

現在は江戸時代の意識とは異なりますが、CO₂の削減、資源やものを大切に使う循環型社会をつくりあげるため、この3R（リデュース、リユース、リサイクル）を合言葉に毎日の生活を見直してみましよう。

多摩ニュータウン環境組合多摩清掃工場



食器リサイクルとエコにごセンター その3

回収した食器を原料の一部に使用して製造した食器の総称を Re-食器と呼んでいます。エコにごセンターでは、多くの方々に Re-食器の存在を知ってもらい、食器リサイクルについて話題にしてもらうきっかけとなることを願って Re-50(回収食器 50%含有)や Re-20(回収食器 20%含有)の食器を展示販売しています。

食器の裏に Re-食器であることがわかるマークがついているものがありますが、無印のものもあります。マークがついていれば、その製品の情報は伝わりますが、ついていないものもあり、販売コーナーに「これは Re-食器です」という説明書きを置いています。

レジカウンター横の Re-食器コーナーには、手軽に使える小皿や何を入れても美味しく飲めそうなカップなど、いろいろな種類の食器を置いています。ぜひ手に取ってみてください。



編集発行 多摩ニュータウン環境組合リサイクルセンター

ニックネーム エコにごセンター (10時～17時 月曜休館)

エコにごセンターは、八王子市・町田市・多摩市で構成する多摩ニュータウン環境組合の施設です。センターの運営業務は特定非営利活動法人東京・多摩リサイクル市民連邦が受託しています。

TEL 042-374-6210 FAX 042-374-6214 206-0035 多摩市唐木田 2-1-1

メール recycle@tama-seisokojo.or.jp HP <http://www.tama-seisokojo.or.jp>

ツイッター「タマちゃん@エコにごセンター」 <https://twitter.com/econico1>

★このニュースは再生紙を使用しています★

